

令和7年度地域連携推進会議 議事録

日 時 令和8年3月25日（水）午後1時30分から午後3時まで

場 所 倉吉市寺谷331 障害者支援施設 トーゲン倉吉

出席者 施設利用者代表1人、地域代表者1人、保護者代表者1人
施設長、施設長補佐、サービス管理責任者

1 開会の挨拶

施設長補佐が、会議出席のお礼と会議開催の趣旨説明

2 自己紹介

参加者各自が自己紹介

3 施設運営状況報告

施設長が社会福祉施設の概要をもとに、施設の沿革、職員の構成、利用者の状況（性別、年齢構成、利用期間、支援区分等の状況）を説明

また年間行事内容、施設の環境整備状況を説明

今日の昼食を画像で提示

4 支援状況を説明

（1）サービス管理責任者が、利用者の日常生活を説明

日常生活のスケジュールを平日と休日を分けて説明

生産活動の状況説明

買い物外出の説明

（2）サービス管理責任者が金銭管理の説明

金銭管理簿をもとに、毎月の小遣い、買い物、医療費等を説明

（3）サービス管理責任者が健康管理状況を説明

毎日の健康チェック、入浴記録、服薬記録、塗り薬塗布記録等を説明

5 意見交換

- （1）利用者代表 トーゲン倉吉の利用者自治会長として頑張りました。毎月の誕生会での挨拶や、寺谷自治公民館へ各戸配布物を届けに公民館長を訪ねました。

(2) 地域代表者 市内の障害児施設に36年間勤務経験があり、当時接した障害児のうちの4人が、現在当施設に入所していることに感激しました。当時の施設職員は、利用者から先生と呼ばれていましたが、今は支援員と変わっているようです。同じ仕事内容でも時間が経ち制度が変わり変化していることにも納得しました。その中で、当時の職場で何かしら頑張ってきたことが、4人の利用者に役立ったと感じて、感動深く満足しました。

(3) 保護者代表 利用者支援のために、数々のチェックリストや記録簿があり、細かく支援できていると感じた。

また金銭管理についても、支援者が配慮して利用者それぞれを支援していることに感心しました。

(4) 施設長 外出・外泊時の変更点について説明し、コロナ蔓延までは、利用者一人での外出や、帰省も出来ていました。コロナ後は利用者一人の状況を無くすために、外出時は支援者同行か保護者同行とし、外泊時は保護者にトーゲン倉吉までの送迎をお願いしています。

6 施設内見学

施設長補佐が、地域代表者、保護者代表者を案内して施設内見学及び説明し案内する。施設自体は開所から40年が過ぎて老朽化もあるが、1人部屋もあることや、間仕切りやパーティションでプライベート空間を確保できていることを見学される。

洋式トイレに暖房便座、ウォシュレット等衛生面の配慮、浴室は浴槽が大きく4から5人が一度に入浴できることなど見学された。食堂ではテーブル間隔を広く取り、転倒防止や開放的空間が確保できていることを感じておられた。また誤嚥防止のため利用者にあわせた刻み食の一覧表、服薬内容一覧表などを見て納得された。

7 解散

3月25日 彼岸のぼた餅昼食



